

つながろう ふれあおう 笑顔あふれる 柏っ子のわ！

甲賀市	活動名： 柏木小学校地域学校協働本部	柏木小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：32人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・「人とつながりふれあうことを通して自分も人も大切に、仲間と共にくましく生きる力を育む」を目標に「つながろう ふれあおう 笑顔あふれる柏っ子のわ！」をキャッチフレーズとして地域と学校で子どもたちを育てていくことについて協議した。
- ・今年度の取組として、地域学校協働活動を同時に立ち上げるため、活動の中心となる学習支援ボランティア（柏っ子サポーター）を募集し、学習や環境整備、行事補助等、できることから取り組んでいくことを協議した。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 学習支援

家庭科調理実習、ミシン実習、かけ算九九聞き役

(2) 環境整備

グラウンド整備（草引き、草刈り）、前庭の剪定

(3) 学校行事支援

さつまいも苗植えと収穫、運動会後片付け、持久走大会見守り、交通安全教室補助



【 第1回柏っ子サポーター会議 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・柏っ子サポーター募集ちらしを保護者及び学区区長会を通じて柏木学区全戸に配布し協力をお願いした。
- ・年2回のサポーター会議を開催した。（1回目はサポーターとしての役割等冊子にして説明。2回目はサポーター活動の振り返り。）
- ・サポーターへの活動依頼、出席確認等はメールで行い効率化を図った。

■ 事業の成果

- ・様々な活動を通してサポーターの方々にとって学校が身近な場所に思っていたできるようになり何度も来ていただけるようになった。
- ・サポーターの方々との触れ合いにより子どもたちとサポーターの方々との温かいつながりが出来てきた。
- ・教職員だけでは支援や整備等、手の届かない所へ地域の方が入ることにより、教職員の負担軽減と教育活動の充実につながった。



【 かけ算九九暗唱補助 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

【課題】

- ・サポーター活動が単発で終わることなく継続的な展開にもっていき活動が必要である。
- ・登録したサポーター全てが活動に参加できるようにすること。

【工夫】

- ・学校からの発信だけでなく地域や児童からの提案による活動を取り入れることにより、活動の場を広げていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会委員と教職員で「地域は何を求め、学校は何をもとめているか」のテーマのもとグループ討議を行った。地域学校協働活動で、どのようなことができるかについてもアイデアを出し合うことができた。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

出かけよう！ふれ合おう！水小大好き！

甲賀市	活動名：水口小学校地域学校協働本部	水口小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和4年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：20人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・地域や児童の課題の共有、団体間ネットワークの構築
- ・学校に必要な支援の整理
- ・予算案の検討

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・地域協働本部主催「あき祭り」

各種団体の協力を得て、土曜日を使って全校児童や地域に呼び掛け、多くのブースを設けて実施した。缶バッジづくり、読み聞かせ、工作、ポッチャ体験、学校園で収穫したサツマイモをかまどベンチで焼いての提供など実施し、約100人の参加者を得た。

- ・放課後学習教室

4～6年生に募集をかけ、計10日間の日程で放課後学習教室を実施した内容は、地域の方々に教えていただくメニューを様々に用意し、「ふれあい」をメインに行った。テレビの解体、ギター教室など、多様な学び、体験を得ることができた。

■ 実施に当たっての工夫

「あき祭り」の実施に際して、学校への関連団体代表者の顔合わせを広く呼び掛けて行った。地域協働本部の目的やコミュニティ・スクールの説明などを経て、今回のイベントの意味合いを共有した。

■ 事業の成果

多くの参加者を迎えることができ、地域協働本部や関連団体への理解を深めることができた。また関連団体が一堂に会することで、協力体制の大切さを実感として得ることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

課題は昨年度と引き続き「年間計画等見通しを持った活動」と「予算」である。

本年度も様々な活動に対するボランティア募集を行ってきた。しかし募集時期の短さや周知の難しさもあり、参加者の確保がままならなかった。次年度は年間を通じた活動を整理し、余裕を持ったボランティア募集を行いたい。予算についても同様であり、年間の計画の見通しが立てば、計画的かつ効率的に予算執行が望める。

少しずつ学校の教育活動に対する参加の意識が高まってきたことは感じるが、テーマである「ふれあい」の頻度をもっと上げたいところである。CSルームを中心に、地域の方やボランティアの方が気軽に訪れることのできる体制づくりが、来年度も引き続きのテーマである。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

本年度は、「動きやすさ」「本来の役割」を意識して学校運営協議会と地域協働本部を独立させて取り組んできた。創造的な活動ができ、動きやすかったというメリットは大きかった。が、両組織の情報共有に課題があった。来年度は定期的な情報共有の場を設けることで改善を図りたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）



【 あき祭り 缶バッジづくり 】



【あき祭り 読み聞かせ】

報告書記入者（校長）

はじめよう やってみよう（地域と学校が協働して取り組む活動）

甲賀市	活動名： 貴生川小学校地域学校協働本部	貴生川小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成4年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：39人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・昨年度から取り組む「スマイルプロジェクト」と名付けたあいさつ運動の広がりや取組の成果。
- ・児童、保護者、教職員アンケートをもとに児童の学習意欲に関する課題や要因、対策について協議。子どもの自主性を生かした取組が各方面で重要であると確認
- ・総合的な学習の時間の内容について、子どもが自ら学び、学んだことを表現することで、地域に誇りと愛着もてるよう「地域学」を進めていくこと
- ・総合的な学習の他、クラブ活動などでも地域人材を活用すること。この際、学習のねらいを共通理解し、振り返りをしっかりすること。



【 ひまわり教室 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

・ひまわり教室（夏休みの地区での学習会）

P.T.A.が主催となり、夏休みに各地区の公民館や集会所にて「ひまわり教室」と名付け、学習会を行っている。P.T.A.の地区委員や民生児童委員、地区役員さんに加え、地区担当の教職員が参加し、支援を行っている。夏休みの宿題に取り組むだけでなく、子ども同士が自由に遊んだり、子ども会行事と一体になったり、各地区で工夫して行われた。

・ふれあいマーケットへの参加（11月の地区イベント）

自治振興会主催の地域行事に児童がお客さんでなく、積極的な参加を目指すために子どもふれあい広場の子どもスタッフを募集した。5、6年生の子どもたちがスタッフとして参加し、行事を盛り上げた。また、クラブ活動の作品展示やステージ発表も行った。企画段階から子どもたちのアイディアが生きる取組が必要である。



【 ふれあいマーケット 】

・きぶかわ学習教室（冬休み・自治振興会主催）

冬休みに貴生川公民館で3～6年生を対象に書初め練習と百人一首大会を行った。水口東中学校の書道部の生徒の指導を受け、22名の児童が参加した。学校運営協議会の委員や学校教職員も参加した。子ども食堂より昼食が提供され、事後アンケートからも多くの子どもが満足し、楽しい時間を過ごしたことが伺えた。

■ 実施に当たっての工夫

- ・平成26年度より始まったひまわり教室であるが、コロナ禍で中止を余儀なくされていたため、P.T.A.が主となり復活するには課題もあった。目的や意図が認識されていないため、P.T.A.役員会に出席し意義を確認して再開をお願いした。その際、P.T.A.に過度な負担がかからないよう学校運営協議会が後方支援をした。また、従来の子ども会の行事や子ども食堂ともコラボし、地域の児童数や子どもの実態に合わせた多様な取組を行った。

■ 事業の成果

- ・地域と学校が協働して取り組むことで、内容の充実と活動の広がりが見られた。地域におけるハード面、ソフト面の資源を十分に生かすことができた。参加する児童は楽しみにしており、子どもたちの居場所づくりの一助になっている。学校運営協議会が後方支援を行うことで、連携を図ることができている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・参加できる子どもに限られており、より多くの子どもが参加しやすい体制を整える必要がある。継続的な活動ができるようスタッフの充実が必要である。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

地域の力を学校へ 地域の中の学校・学校を核にした地域へ つながり合う綾野小CS

甲賀市	活動名：綾野小学校地域学校協働本部	綾野小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：12人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

- 学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・子どもたちや学校の実態を踏まえた「学校の運営方針」について…学校経営管理全体計画を基にして
- ・学校運営協議会で取り組んでいく活動の具体について…①学校教育支援 ②地域連携 ③放課後・学外教室の3本柱で
- ・地域学校協働本部の活動の進捗状況と今後に向けて
- ・ボランティアの拡充に向けて
- ・広報誌の発行と内容の検討について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・（2年）栄養バランスを考えて食べよう（食育）
 学校教育支援活動について検討していく中で、学校運営協議会委員の1名が健康推進員をしており、その活動のニーズと2年担任のニーズが一致し実施の場が実現した。

■ 実施に当たっての工夫

- ・担任と健康推進員（ボランティア）との間に地域学校協働活動推進員が介し、授業を行うに当たって、細部にわたるまで何度も打合せを行い当日を迎えた。
- ・小学校で実施するのは初めてだったので、資料も1セットしかなかったが、2学級同時実施に合わせ、資料を2セット作成するとともに、健康推進員が2班に分かれて実施した。

■ 事業の成果

- ・子どもたちの反応
 「いつもは食べられないけど今日は頑張って半分まで食べました。」「これほどの指かなと考えながら食べました。」「食べ物には一つ一つ役割があることに気づきました。」「嫌いなものも食べてバランスをよくしなきゃと思いました。」「魚や野菜、お肉などいっぱい食べてたくさんの栄養をとりたかったです。」「今日の朝ごはんは全部の指の栄養食べられたよ！」
- ・ボランティア（健康推進員）の声（感想）より
 子どもたちからたくさんの発表があり、最後まで話をしっかり聞いてくれてよかったです。子どもたちのパワーはすごい！いっぱいパワーをもらいました。良い経験をさせていただきました。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・上述の①②③のうち、熟議の結果、まずは①学校教育支援を中心に進めていくことになった。開始初年度ということもあり、ボランティアの募集に最も力を注ぐことになった。
- ・学校の保護者を含めた地域全体への周知も同時進行で進めていくこととなり、CSへの理解の広がりとともにボランティアも徐々に集まってきた。
- ・ボランティアについては、特定の団体に丸ごと依頼をする方法とはらず、活動に理解・賛同してくださる個人を中心に進め、その方から更に協力していただければいい方向へと、「人から人へ」を基本に進めていった。
- ・次年度は①の活動の継続・充実を図るとともに、②地域連携活動へ、更に次々年度は③放課後・学外教室へと同心円的に活動を広げていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会の委員のほとんどが日中に仕事をもっている人が多く、地域学校協働本部部員を兼任しているものも多い。そうした中、地域学校協働活動推進員の役割は大きい。その負担軽減と充実を図るために、次年度は2名体制での運営を現在考えている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

- 校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）



【 栄養のバランスよく食べようね 】



【 この食材はどの指にあてはまるかな？ 】

報告書記入者（校長）

未来へつなぐ 土小の教育活動 ～地域とともに～

甲賀市	活動名 : 土山小学校地域学校協働本部	土山小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度 : 令和3年度 地域学校協働活動推進員等数 : 2人 ボランティア登録数 : 16人 ■学習支援 (授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア (読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成 (地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体 (該当するすべてに■印)

- 学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他 ()

- 学校運営協議会で熟議された内容 (地域学校協働活動に関わる内容等)
 3校(旧鮎河小、旧山内小、本校)の持つ教育的な環境・素材・人材を有効に活用し、ふるさと甲賀・土山の魅力を体感・体得できるようにする。
 地に足のついた「土山学」の充実を図るための活動・支援・交流を進めていく。



【 茶摘み体験 】

■ 地域と学校が協働した活動 (特徴的な活動)

- ① 6年生 いこうか! 土山町 CYATA(きゃつた)・map
 土山の自慢の場所は"どこ"ですか? の作成
 ② 5年生 バケツ稲栽培 ③ 3年生 お茶摘み体験、茶工場見学

■ 実施に当たっての工夫

- ① 6年生の児童がこれまでの「土山学」の学びの成果として、28か所のおすすめの場所を地図にした。町内の企業(フレンドマート土山店、道の駅あいの土山、土山サービスエリア)などから情報提供をいただき、これらの企業はもとより、町内の公共施設にmapを置いている。さらに、市公共交通推進課の協力を得て、グループで立案したコースを公共交通機関めぐり、「土山学」の集大成としての地域学習を行った。
- ② 例年、田んぼのご事業で、地域の農家の協力を得て田植え、稲刈り体験を実施してきたが、それに加えて、5グループで2杯ずつバケツ稲の栽培、観察を行った。1杯は1本植え、もう1杯は5本植えとして、どちらが多く収穫できるのか、稲という植物はどのように成長し、モミをつけていくのか観察をした。
- ③ 地場産業である土山茶を学習するため、校内で栽培している茶園での茶摘み、茶農家での工場見学を行った。茶工場見学では、刈り取られた茶葉がいろいろな機械を通るたびに様子を変え、だんだん細く仕上がっていく流れを学んだ。

■ 事業の成果

- ① 地元土山にはどのような観光地、魅力があるのか再確認でき、郷土愛を育むことができた。また、時刻表を確認しながら公共バスを利用することは、これまでにないよい経験となった。
- ② 葉齢の数え方や、分けつの増え方を学んだ上で定期的な観察を行うことにより、1本が20本以上になり数千の穂をつけていく過程がわかった。
また、1本植えでも5本植えでも収量には差がないことも知ることができた。
- ③ 茶摘みでは茶農家から「一芯二葉」で摘むことを学ぶと、子どもたちは「いっしんよう、いっしんよう」と言いながら楽しく摘み取っていた。
また摘み取った葉を電子レンジで温め、手で揉みこんで、フライパンで煎り乾燥させ試飲することもできた。



【 公共バスでの地域学習 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

特別な準備を必要とせず、継続できる内容で実施していくことが大切である。しかし、田んぼのご事業では、農作業の提供は農家にとって大きな負担であり、いかにして地元の負担を軽減し協力を得やすい内容としていくか考えなければならない。

■ その他 (学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会のたびに推進委員から活動報告をしていることに加え、運営協議会の委員には協働本部の委員を兼ねておられる方もあり、円滑な協働体制となっている。

■ 協働活動推進員 (コーディネーター) と協働する学校関係者 (該当するすべてに■印)

- 校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他 (全ての教職員)

報告書記入者 (地域学校協働活動推進員)

つながれ 大原！ みんなで 笑顔に！

甲賀市	活動名：大原小学校地域学校協働本部	大原小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人） ボランティア登録数：169人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

どれだけの事業を実施するか
 実施するにあたって、誰がどのようにかかわっていくか
 目的や共通理解するべきことなど

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・草引き活動（地域に依頼するのではなく、ボランティア募集で参加を募り、児童と一緒に活動できる機会を設けた）
- ・持久走コース練習の見守りを周辺の地域に広報し、一般の見守りを呼び掛け、沿道を見守っていただけた。
- ・学校のシンボルであるけやき保護のため、4年生の児童と地域代表で樹木医の説明を聞き、養生作業をした。毎年、4年生が作業を受け継ぐ。



【 児童と一緒に草引き 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアは、楽しいものであり、強制されるものではなく、自発的なものであると考え、あえて任意団体に依頼するようなことはしない。
- ・担任とのコミュニケーションを大切にする。

■ 事業の成果

- ・事業にかかわった方は、楽しかったと提供いただいているし、地域が少しでも元気になってもらいたいという思いで、声掛けをし、学校周辺の方は、草引きや持久走練習も気にかけてもらえるようになったと思う。
- ・活動に対し、11月現在で延べ390名を超える方々にかかわっていただけた。



【 児童と一緒にけやきの治療作業 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・1年目であり、なかなか先が見通せず急な案内をすることになったので、今年度の事績をもとに先を見据えた活動にしたい。
- ・準備、後片付けにどこまでかかわってよいかなど、細かな打合せができなかった。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会のメンバーが協働本部のメンバーにも入っているため、活動への理解や協力が速やかであった。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（担任）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

ふれ愛 おくり愛 心はじける さやまっ子!!

甲賀市	活動名： 佐山小学校地域学校協働本部	佐山小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：9人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

今年度が立ち上げ1年目なので、まず、子どもたちの強みと弱みを出し合い、どんな子どもに育てたいか熟議した。本地域の子どもたちは、まじめで落ち着いているが、自分の良さを発揮することに恥ずかしさや遠慮が見られることがある。なので、人との温かなふれあいを糧として、主体的に自分の良さを発揮する子どもを育てよう方針を立てた。ビジョンは次の通りである。

「ふれ愛（横のつながり） おくり愛（大人から子どもへ世代を超えた縦のつながり）

心はじける（一人一人がもっている良さを主体的に発揮する） さやまっ子!!」

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・わくわくフェスティバル…子どもたちが、もち米の田植えと稲刈りを地域の協力のもと行った。その後、収穫祭として、餅つき、わら細工づくりを、子ども、保護者、地域の方々で行った。
- ・学習サポート隊…放課後や昼休みに、子どもたちの学習支援を行った。放課後には、宿題や自主学習、読書に取り組む姿が見られた。昼休みには、「地あたまトレーニング」と題して、脳を鍛えるための線つなぎやパズル、早口言葉などを楽しみながら行っている。
- ・植木サポート隊…校庭の松などの樹木の選定をしてくださっている。
- ・野菜サポート隊…子どもたちの野菜作りを支援してくださっている。
- ・ミシンサポート隊…5・6年生の家庭科学習のミシンを支援してくださっている。
- ・水泳、持久走見守り隊…子どもの安全を見守りながら、励ましの言葉もいただいている。
- ・版画サポート隊…彫りの安全を見守ったり、刷りを支援したりしていただいている。



【餅つき】

■ 実施に当たっての工夫

- ・わくわくフェスティバルでは、餅つき協力者やわら細工協力者を募集し、地域の方とつながりが持てるように、その方々に名札をつけていただいた。また、日ごろの見守りのお礼を子どもたちが伝える場も設けた。
- ・できるだけ、子どもたちとふれあっていたり、地域COや担当教員が場や機会を整えた。お礼の手紙やプレゼントも喜んでいただいている。



【わら細工教室】

■ 事業の成果

- ・わくわくフェスティバルでは、子ども、保護者、地域の方々が一堂に集う場となり、子どもと地域、保護者同士、地域同士、いろいろなふれあいが生まれた。
- ・ボランティアの方々には、学校や子どもたちの様子を肌で感じていただき、学校や子どもたちのために、協力しようという思いが広がりつつある。子どもは、いろいろな方とふれあい、成長している。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

今年度は、発足したばかりで、ボランティア登録数が9人とまだ少ないが、しだいに口コミで増えてきている。様々な場面で地域と協働できることがわかってきたので、来年度は、より広くこの活動を伝え、充実させたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

まず、地域学校協働本部での今年度の成果を学校運営協議会と共有し、今後の取組の柱をともに熟議し、地域学校協働活動での実践につなげていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（校長）

西地域と 図豊かにつながり 図美しい郷土と 図文化を育む

甲賀市	活動名 : 甲南中部小地域学校協働本部	甲南中部小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度: 令和5年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 ボランティア登録数: 26人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア (読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成 (地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体 (該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他 ()

■ 学校運営協議会で熟議された内容 (地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・CS初年度のめざす子どもの姿として提案された「あいさつをする子」「話を聴く子」について子どもの現状から適切かどうか、その実現のために「学校運営協議会の果たす役割は何か」「学校運営協議会は協働本部とどのように関係していくか」について熟議した。
- ・ボランティアルームを設置するに当たり、その役割と運用方法、そして学校が必要とするボランティアの募り方等について年間を通して議論を重ねてきた。

■ 地域と学校が協働した活動 (特徴的な活動)

- ・FBC花壇コンクールに取り組みに当たり、地域の老人クラブと保護者・学校が連携し、地域の花壇の苗の移植から水やり、除草作業などを子どもたちと共に行っている。
- ・「田んぼの子」を推進するために地域の農事改良組合営農部の方々の協力を得て、田植えから稲刈りまでの作業を子どもの学びの視点から行っている。収穫後にはお世話になった方々を招き、家庭科の時間を使い子どもたちが調理したお米を食べていただく「感謝の集い」を実施した。



【 地区花壇の移植作業 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・FBC地区花壇の取組については、老人クラブ代表と保護者地区担当が年2回打合せの会議をもち、作業がスムーズに行えるようにしている。
- ・田んぼの子も営農部の代表者との打合せを行い、学校の思いを伝えながら効果的な体験活動が行えるよう努めている。

■ 事業の成果

- ・本年度FBC花壇コンクールは、学校だけでなく地域での取組が評価され「国土交通大臣賞」を受賞した。
- ・協働本部ではビジョンの共有をまずめざしたが、各団体、各地域で「めざす子どもの姿」をある程度意識して子どもと関わっていただけるようになった。
- ・学校だけではなく地域においても「あいさつをする子ども」の姿が多く見られるようになった。
- ・協働本部で参画する各団体の取組の様子を交流することで、学校では把握できない各地域での子どもの姿を知ることができた。また、それぞれの活動の実状を理解することで今後の協働のあり方について模索するヒントになった。
- ・今年度行われた事業では「地域との協働」という視点から進め方や内容が見直された。



【 稲刈り作業 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今後事業を充実していくためには学校を支援するボランティアの拡充が求められる。初年度は学校のニーズに応じたボランティアの人数確保は難しかったが、次年度以降自治振興会との関係やSNS等の利用も視野に入れながら募っていきたい。

■ その他 (学校運営協議会との協働等)

- ・昼休みに地域の方々と子どもが遊びを通してふれあう場を設定する場をなんとか設定したいと考えている。

■ 協働活動推進員 (コーディネーター) と協働する学校関係者 (該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他 ()

報告書記入者 (地域学校協働活動推進委員)